

丑山古墳群



小林の三島神社の南側に、畑の中に3基、少し南にある樹木に覆われた箇所1基と合わせ4基の古墳があり、丑山古墳群とよばれている。

西条誌の小林村の項に、「塚穴 二・三か所にあり。大なるはうちの広さ八尺に五尺ほどあり。三方石を積み上に平なる大石を置く。他村の条下にて云たる如く、上古の穴居の後なるか」とあり、三島神社誌には、「境外に大古墳あり。ご陵墓かと伝えられる。」とある。

土居町誌には、開口部が北側を向いていること、小丘が一直線に等間隔に並んでいること、風留という地名などから住居または見張り所のようなものであったものが、後に先祖を祀る墳墓として転用されたのではないかという可能性も指摘されている。

発掘調査などは行われておらず、詳しいことは分からない。

また、近くには、奥殿古墳や日向山古墳などが点在している。